



MÉXICO NEWSLETTER - 119

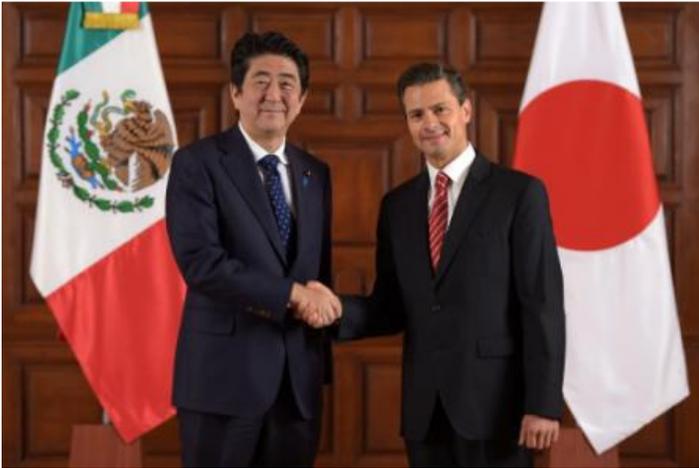
在日メキシコ大使館刊行物
2014年5月-8月

在日メキシコ大使館
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-15-1
<http://embamex.sre.gob.mx/japon>

NEWSLETTER NO. 119 (2014 年 5 月-8 月)

1. 安倍首相のメキシコ公式訪問
2. アントニオ・ミード外相の日本国公式訪問
3. エネルギー改革二次法制の公布
4. 在日メキシコ大使館、広島と長崎の平和式典に参加
5. グアナフアト大学代表の来日
6. モンテレイ工科大学の代表団がメキシコ大使館を訪問

安倍首相のメキシコ公式訪問



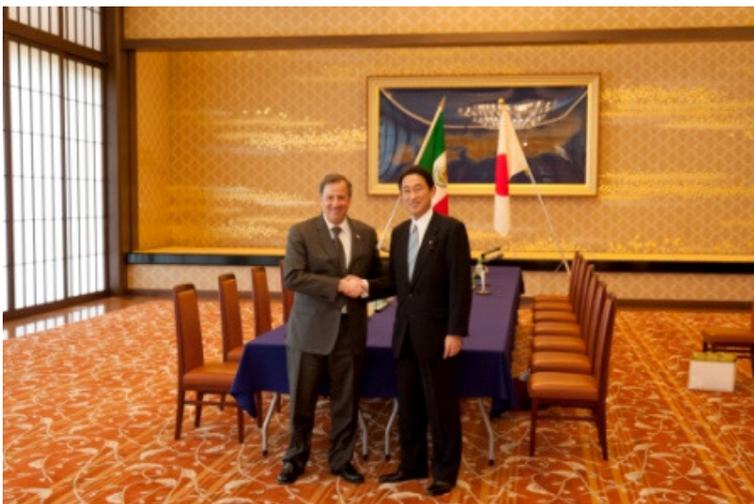
安倍晋三内閣総理大臣は、7月25日と26日の二日間、昭恵夫人を伴ってメキシコを公式訪問した。エンリケ・ペニャ・ニエト大統領との首脳会談では、二国間関係の現状を分析し、連携や相互理解の強化などについて協議した。今回実現した安倍首相のメキシコ訪問は、2013年4月にペニャ・ニエト大統領が実施した日本国公式実務訪問の際に表明した招請に応える形で実現した。この訪墨には、財界人の代表団も随行し、7月25日にCOMCE(メキシコ貿易企業連合)と経団連が共催した第31回墨日経済協議会に参加した。また、メキシコ文化の豊かさや伝統に強い関心を有する安倍首相は、古代テオティワカン文明の遺跡も訪れた。

今回の訪墨によって、堅固な墨日二国間関係の重要性が再確認され、政治、経済、ビジネス、協力の各分野での更なる関係強化をめざす両国家の意志が明確に示された。2013年の実績によれば、メキシコにとって、日本は世界全体で第四位、アジアでは第二位の貿易パートナーであった。

アントニオ・ミード外相の日本国公式訪問



ホセ・アントニオ・ミード・クリブレリャ外務大臣は、二国間関係の強化と新たな協力の機会を模索する目的で、6月27日と28日の両日、公式訪問をおこなった。滞在中、ミード外相は、安倍晋三首相を表敬し、エンリケ・ペニャ・ニエト大統領から託されたメッセージ、即ち、首相のメキシコ訪問を求める再度の招請、を伝達した。また、岸田文雄大臣との外相会談では、二国間関係の現状を討議し、緊密な対日関係の強化を継続するメキシコの方針を表明した。



ミード外相は、元外務大臣で日本メキシコ友好議員連盟会長の中曾根弘文参議院議員とも懇談し、両国議会議員間の対話強化を継続したい旨の意向を伝えた。更に、日本経団連の榊原定征会長、国際協力機構(JICA)の田中明彦理事長、国際協力銀行(JBIC)の渡邊博史総裁とも個別に会談した。

エネルギー改革二次法制の公布



8月11日、エネルギー改革二次法制が公布された。それによって、合理的かつ持続可能な方法で、その国家主権、経済効率、公益の諸原則を遵守しつつ、エネルギー資源を活用する画期的な好機の扉がメキシコに開かれた。

天然資源の効率的な利用によって、国民の生活水準を高める方向で、エネルギー部門の潜在力活用が可能になる。この目標の達成は、よりクリーンで低コストなエネルギー生産の拡大、石油収入の増大、高賃金の雇用創出、環境の保護などで具体化される。今回のエネルギー改革によって、長期的な財政責任や競争、開放、透明、持続可能性などの原則に立脚したダイナミックなエネルギー・モデルへの移行を、メキシコはめざしていく。



在日メキシコ大使館、広島と長崎の平和式典に参加

在日メキシコ大使館は、メキシコ政府代表として、8月6日と9日、それぞれ広島と長崎への原爆投下から69回目となる広島市平和記念式典(原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式)と長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に出席した。



また、大使館は、8月6日、広島で開催された原水爆禁止2014年世界大会の国際フォーラム「核兵器全面禁止のために—政府とNGOの対話」にも参加。8月9日、長崎の平和祈念式典では、田上富久長崎市長がその平和宣言の中で核兵器使用がもたらす惨禍について語り、2月にメキシコで実施された「第2回核兵器の人的影響に関する会議」に言及した。

グアナフアト大学代表の来日



グアナフアト大学(UG)から来日した代表団が、6月23日、同大と日本の各大学との関係について報告すべく在日メキシコ大使館を訪れた。大学関係者らによると、日本の大学の中でも長岡技術科学大学(NUT)と特に緊密な関係を有しており、墨日米の工学コンソーシアム、工学大学院生対象のダブルディグリープログラム、大学及び大学院の学生らの交流など様々な共同プロジェクトを進めている。

また、UG 学長 ホセ・マヌエル・カブレラ・シクスト博士は、6月20日と21日の両日 NUT で実施された第3回国際技学カンファレンス in 長岡に参加した。期間中に開催された式典で、教育や相互理解の面でUGがNUTに果たした多大なる貢献を高く評価する旨の表彰があり、NUT 学長 新原皓一博士よりカブレラ学長に名誉博士号が授与された。

モンテレイ工科大学の代表団がメキシコ大使館を訪問

7月14日、モンテレイ工科大学(TEC de Monterrey)の代表団が在日メキシコ大使館を訪れ、同大学の21世紀国際化戦略(TEC21)について語った。その主な目標は、学生たちに完璧で優れたグローバルビジョンを身につける機会を与えるべく世界各国の一流大学と提携関係(戦略的同盟)を確立することである。この点からも、今回の訪日目的のひとつは、Programa de Excelencia(プログラマ・デ・エクセレンシア)なる制度で優秀な学生の留学交流実施をめざして、日本の有名大学と接触をはかることであった。



また、こうした交流計画を支援する目的で、日本在住のTEC卒業生(OBやOG)が日本企業にアプローチをおこない、同大学学生の専門実習受け入れを打診することになった。

